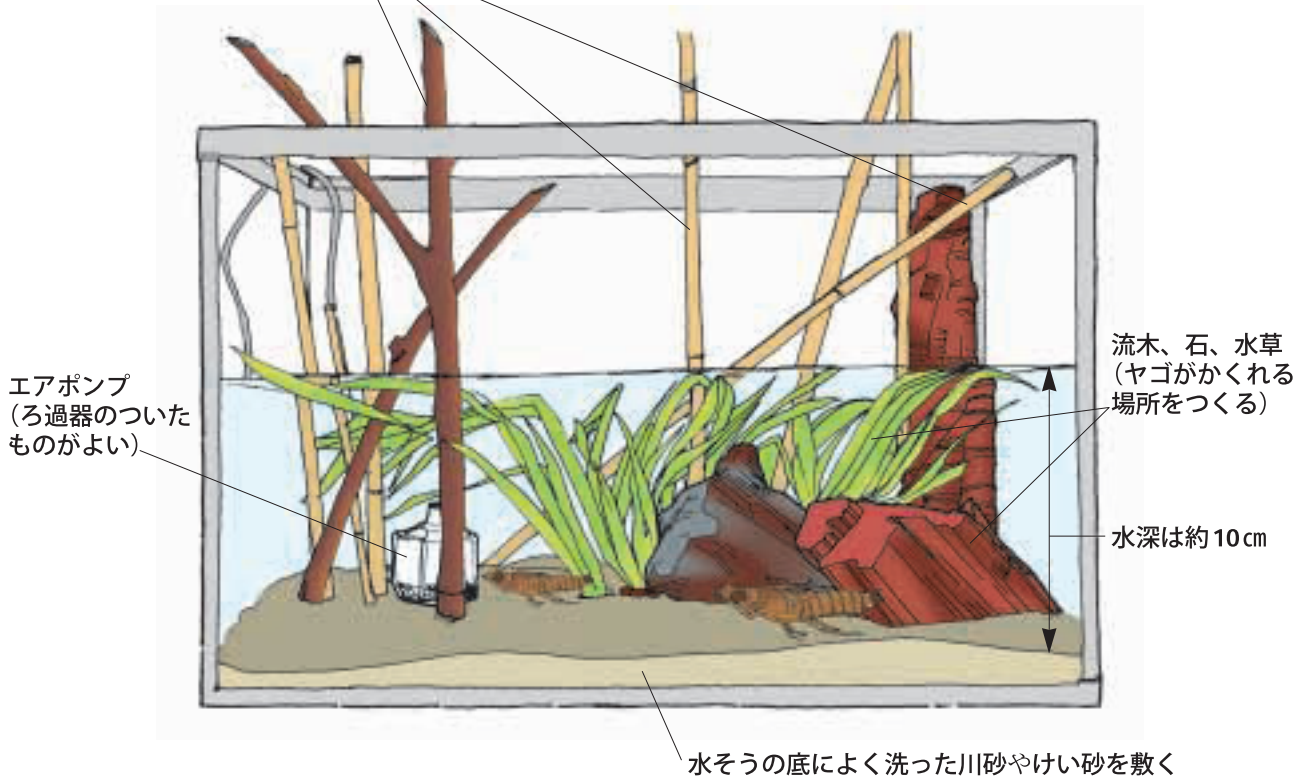


[ヤゴの飼いかた]

木の枝、アシの茎、流木
(羽化の足場になる)

●水そうは直射日光のあたらない
場所に置く



エサ

- 生きたイトミミズやアカムシ、ボウフラ、ミジンコなどを与えます。大きめのヤゴはオタマジャクシやメダカも食べます。
- 食べ残しや死んだエサはすぐに水そうから取り除きます。そのままにしておくとすぐに水が悪くなります。

水の交換

- 水が白く濁ったり、くさいにおいがしたら水質が悪くなっているので、すぐに水をとりにかえます。
- 水は2～3日くみおきしたものを使います。
- 水がきれいに見えても14～20日に一度は水かえをします。

羽化







- 幼虫がエサを食べなくなり、水面近くに来るようになったら、羽化が近いので、上の図のように、木の枝、アシの茎、流木などで羽化の時の足場をたてます。羽化がはじまったら、完全にハネがのびるまで、決してさわらないようにします。

その他

- 幅30cmほどの水そうで大きなヤゴが3匹ほど飼育できますが、大きさのちがうヤゴを同じ水そうに入れると、とも食います。

池や沼でよく見られるヤゴ

体長は終齢幼虫

<p>アジイトトンボ</p>  <p>幼虫期間 不明 成虫の出現期間 4月中～10月中 体長 12～15mm</p>	<p>モノサシトンボ</p>  <p>幼虫期間 約2年 成虫の出現期間 5月末～9月中 体長 12～15mm</p>	<p>ギンヤンマ</p>  <p>幼虫期間 3～4ヶ月(冬越:8ヶ月) 成虫の出現期間 4月末～10月中 体長 49～55mm</p>
<p>シオカラトンボ</p>  <p>幼虫期間 不明 成虫の出現期間 4月中～10月中 体長 19～25mm</p>	<p>ウスバキトンボ</p>  <p>幼虫期間 約4週間 成虫の出現期間 6月上～11月中 体長 22～25mm</p>	<p>ナツアカネ</p>  <p>幼虫期間 約3ヶ月 成虫の出現期間 6月中～12月中 体長 17～20mm</p>

成虫になったら・・・

トンボは飛ぶ力が強く、むしかごに入れておくと、すぐにハネや体が傷ついてしまうので放してあげましょう。

もし、成虫を飼育するのならば、暗い場所に置き、水と蚊、ハエなどの小さな昆虫をピンセットで食べさせます。

(トンボは暗い場所においておくとあばれません)